

祝合格

今年度は、2名が小学校教諭採用試験に現役合格しました！本当にめでたい！！
そこで、合格者の2人と採用試験対策講座担当の尾崎先生にインタビューしてみたいと思います☆

① まずは簡単に自己紹介を！

幼児教育学科4年の小嶋潤磨です。好きな芸能人は千鳥です。YouTubeで流れてくるくせスゴの芸人たちを見るのが大好きです。



② 小学校の先生を目指そうと思ったきっかけは？

小学生の時にソフトボール部の監督のようにになりたい！と思って小学校の先生を目指し始めたのがきっかけです。中高とあまり夢については考えてなかったのですが、高校の時の担任から「お前は教えるのに向いてるぞ！」と言われたのがきっかけで、再度小学校教諭を目指すことにしました！

③ どうやって、勉強していた？

学校で行われる教員採用試験対策講座での勉強を4年間と、その他に塾で小中高生にさまざまな教科を教えていたのでちょっとした教養を身に付けることができました。家での勉強はその日やったことを復習するくらいで、ほぼ学校で勉強をしていました！

④ スバリ合格のヒケツは？

まずは、先生になりたいという強い気持ち！そして、元気の良さだと思っています！面接では第1印象が大切ですのできはきと元気よくやるのが大切だと思います！そして、日頃から前に出て色々なことに挑戦することも大切なことです！日総ではそのような経験が沢山できました！

⑤ 挫けそうになったことはあった？ そんな時の気分転換の方法は？

挫けそうなときは問題が解けなかったとき。そんな時は、もう一度復習をする！ほかに、きれいな川に行ってYouTubeを見ました(笑)

⑥ どんな先生になりたい？

子どもたちに負けにくいくらいの元気で退職するまで頑張りたいと思っています！実習先の先生や講義の先生からも元気の良さは子どもたちをひきつける一つのポイントだと言われ続けていました。他の先生に負けたくない、子どもたちに負けたくないパワーで授業をしていきます！

⑦ 後輩たちに一言！

早めにレポートをしておくこと！試験前にやばい！と思わなくてもいいように今のうちに負荷をかけておくことが重要だと思います！そして、今できることとして沢山前に入る経験を積んでおくといいかもしれませんよ！私も1年生の時から前に入る経験をしたことで、今の自分があると思っています！



① まずは簡単に自己紹介を！

平成12年3月21日生まれ、幼児教育学科4年の堀田裕貴です！好きなことは2人の甥っ子と遊ぶことです。好きな食べ物は、チーズインハンバーグとソフトクリームと焼肉です！おいしい所を知っている人がいたら教えてください！

② 小学校の先生を目指そうと思ったきっかけは？

子どもと遊んだり勉強を教えるのが大好きなのは勿論ですが、それ以外の理由として、小学生の時に友達がいじめを受けていたのを止めることができなかった後悔と、高校生の時に学童で子どもから「ひろたか先生が学校の先生だったらうれしい」と言われた経験からです。

③ どうやって、勉強していた？

尾崎慶彦大先生が1~3年生にも行っている教員採用試験の対策講座で主に勉強していました！過去問や問題集を後から解いた際に、「尾崎慶彦でやった問題だ！」となるので、本気で教員を目指す方は、しっかりと尾崎先生の授業を受けると良いと思います！また、塾で子ども達に教える中で教養が身につきました。

④ スバリ合格のヒケツは？

1次試験に関しては、本当に尾崎先生の授業で行ったような問題がそのまま出たので、何度も繰り返して解いた結果だと思います！2次試験では、尾崎先生や潤磨君と毎日練習を繰り返したことと、自治会や塾で前に立って話すことを続けてきたことで身についた明るさ、ハキハキさだと思います！

⑤ 挫けそうになったことはあった？ そんな時の気分転換の方法は？

1次試験の勉強を一人でしている時期に、焦りが出てそこから少し挫けそうになることがありましたが、勉強の途中で尾崎先生が関係無い話で盛り上げてくれたり、ドライブに行ってストレス発散をしていました。途中からは一緒に勉強したり模擬授業について意見を出し合う相手がいたので、充実して行えました。

⑥ どんな先生になりたい？

とにかく子ども達を楽ませることのできる先生になりたいと思っています！勉強や運動、遊びを子ども達と一緒に楽しんで笑顔で生活したいです！また、いじめを絶対に起こさせない、早期解決できるような学級経営を行えるような先生になりたいです。

⑦ 後輩たちに一言！

今、皆さんが授業で学んでいること、これまで勉強したことの一つ一つが教員採用試験で生きてくるので、しっかりと授業を受けること、遅刻等をしていないことを徹底すると良いと思います！2次試験では、明るさ、人間性が必要になるので、色々な事に挑戦したり、楽しいことをいっぱい経験してください！残り半年間ですが、いっぱい一緒に遊んだりしましょう！

①まずは簡単に自己紹介を！

音楽・映画・フットボールをこよなく愛するアラフォーです。今年2名合格してくれて本当に嬉しかったです！

②現在の採用試験の傾向は？

倍率的には下がってきていますが、対策をせずに合格するほど甘くはありません。また都道府県ごとにより倍率が違うので、別の都道府県を考えている方は要注意！

③ズバリ、どうやって勉強したらいい？

小免科目の講義をしっかりと受け、内容を押さえることが一番の勉強だと思います！それが出来ていると、後々問題を解くときに「これ、〇〇先生の講義で聞いたやつだ！」に繋がります。

④おすすめの教材はある？

「採用試験対策本」のような教材より、もう一度小中高で学習したことを復習することをおすすめします。中学レベルの問題集を解いてみると意外と忘れていたことに気が付きます。教育法規関係の教材は僕にお任せください！

⑤採用試験ではないけれど、科目終了試験の勉強法も教えて！

これも普段の講義をしっかりと受け内容を押さえることが重要です。関係ないような科目でも意外なところで繋がってきます。そして勉強に限らず様々な経験をして下さい！自分の中の引き出しが増えると自然と文字数も増えていきます。

⑥これから、教員採用試験を受験する学生たちに一言！

今点数が悪くても焦らないでください！一度間違えた問題をもう一度間違えないことが大切です。じっくり頑張れば結果はついてきます！



実習頑張りました！

幼児教育学科3年生が付属園で12日間の実習を頑張ってきました！11月からはこども学科2年生と3年生が実習に臨みます。2年生は初めての長期実習。先輩に続いて、頑張れ2年生！！



校長室の窓から

48年後の後輩達へ

私は昭和49年3月に大学を卒業、4月には初任校である阿蘇農業高校に新任教師として赴任した。初めての職員会議は、急に大人の中に放り出されたような感覚で新鮮でもあり、不安でもあった。会議終了後、ある先輩教師からグラウンド集合が告げられた。何もわからず指示された体育服に着替えグラウンドに顔を出すと当時の職員ソフトボールチームのエースピッチャーが速球を投げ込んでおられた。その玉を私に打ってみると声がかかる。多少野球経験のある私はセンター前にライナーで打ち返す。これは入団テストである。その後のベースランのタイム計測も最速タイムで私は見事合格。朝は早朝ソフト、休日は宴会付き宿泊付きの遠征試合。教職員の単独チームとしては珍しく熊本県一般男子三位まで上り詰めるまでになっていた。教育実習時の経験だけを頼りに教壇に立っていた私は、この先輩達との3年間で教師としての基本を学びやり甲斐を感じていた。

この春、卒業する学生達は私からほぼ半世紀後にそれぞれの職場で教壇に立つ。本誌面でも紹介があるように、現役で小学校教諭にも見事合格。幼稚園・保育園・各種施設も含めどのような教職生活が待っているのだろうか。

働き方改革、教師の多忙感、負担感などという用語を見聞きするのは、ほんのこの数年のことである。私の初任当時も教師が多忙で無かった訳がない。未熟に加え慣れない私は引率する修学旅行前日、成績処理に追われ、家に帰ることもできなかった。体育倉庫のマットの上で仮眠をとり、そのまま学校の集合時間に間に合うように対応するといった具合だった。しかし、そのことで多忙感や負担感を感じることは全くなかった。それらを上回る「教師としてのやり甲斐や感動」がそこにあった。そのことが私自身のエネルギー源でもあったように思う。後に続く後輩達にも教師として意気に感じる経験を沢山積み重ねてほしいと願う。

文責 高木